

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和元年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立上九沢身体障害者デイサービスセンター
指定管理者名	社会福祉法人県央福祉会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)
施設設置条例	相模原市立身体障害者デイサービスセンター条例
施設の設置目的	在宅の身体障害者及びその介護を行う者に対し、通所による機能訓練、創作的活動、介護方法の指導等の各種のサービスを提供することによって、身体障害者の自立と社会参加を促進し、もって、身体障害者の福祉の増進に寄与する。(条例第2条) ※ 障害福祉サービス事業(生活介護)を実施。
施設概要	開館時間:午前8時30分から午後5時まで 休館日:日曜日、祝祭日及び12月29日から翌年の1月3日までの日 年間開所日数:293日 延床面積:721.44㎡ 主な施設:食堂、作業・日常訓練室、休憩室、健康管理室・相談室、浴室(一般、機械)、脱衣室、トイレ、厨房、事務室、湯沸室、倉庫、機械室
施設所管課	健康福祉局地域包括ケア推進部高齢・障害者福祉課

2 管理実績

※利用者負担金のうち特定費用(給食費)を除いた額(平成30年度から分けて計上)

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	5,269	5,652	5,649				
自立支援給付費(円)	106,056,361	11,590,000	115,994,377				
利用者負担金(円)	1,734,988	112,268※	101,177				
収入総額(円)	110,407,671	120,283,033	121,291,538				
支出総額(円)	106,451,018	104,530,498	110,736,784				

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
S	目標値に対して、高い実績値となっている。例年安定して目標値が達成されており、生活介護事業所として、送迎をはじめ、入浴サービス、食事の提供、その他日中活動支援に係る様々なプログラムについて質の高い支援が継続できていると考えられる。

指標 1

指標名(単位)	開所日1日当りの平均通所者数 単位:人
指標式と指標の説明	施設を利用し、機能訓練、創作活動等のサービスの提供を受けることにより、身体障害者の福祉の増進が図られるため、1日当たりの平均通所者数(年間通所者数÷開所日数)を成果指標とする。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(単位)	16.50	17.00	17.5	17.5	17.5	17.5	17.5
実績値(単位)	18.00	19.30	19.4				
達成度(%)	109.1%	113.5%	110.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	利用者の平均障害支援区分は、5.2であり、重度の障害者に対応するため、毎日看護師を基準以上に配置している。また、日中の支援プログラムは選択制となっており、利用者の意向に沿った支援を行っている。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
生活介護の業務	通年	○通所される利用者への日常生活上への活動支援 ・利用者の平均障害支援区分は、5.2 ※障害支援区分は非該当～区分6の7段階で、区分6が最重度 ・医療的なケアが必要な利用者に対応するため、看護師を毎日2～3名配置（配置基準は1日1名以上） ○外出プログラム ・大型商業施設等への外出 ・車いすを利用している10名ほどが参加 ○季節に合わせたプログラムの実施 ・室内でお祭りやクリスマス会、新年会等を実施 ・各回15～20名程度が参加	◎
入浴サービス	通年	入浴希望の利用者へ車いすに座ったまま入浴できる特殊浴槽などを活用したサービスを提供 令和元年度:3,673件	◎
食事の提供	通年	嚥下障害など自力での食事が困難な利用者への支援 流動食など利用者個々に適した食事を提供	◎
送迎サービス	通年	自宅まで送迎サービスの実施	○

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
	自主事業なし		

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	満足度は昨年度とほぼ横ばいになっている。入浴サービスの満足度が低下したのは、利用者が増えたことにより、以前に比べて希望に沿った利用ができなくなっていることが要因であると考えられる。回答の選択肢の中に「どちらでもない」を設定しており、その選択肢に回答が集中している設問も数多くあるため、より明確な利用者ニーズを把握するため、選択肢について検討してはどうか。

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	施設の利用者を対象とした満足度調査
目標値の基準	「とても満足」「満足」「やや満足」「どちらでもない」と回答した人の割合の合計

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（％）	91.1	91.7	92.3				
実績値（％）	91.0	92.8	92.2				
達成度（％）	99.9%	101.2%	99.9%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
福祉オンブズマンの来訪	月1回	相模原福祉オンブズマンが来所し、希望する利用者と一緒に面談を行う。福祉オンブズマンは、利用者から聞いた意見を施設側に伝え、施設側は利用者の意見を支援等に反映している。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見		
S	経営規模が大きく、法人収益全体のうち当施設の収入は依存度が少ない。収益性は低い、資金流動性は良好である。土地・建物の所有が多く、長短借入金の依存度が472%であるが、自己資本比率35.0%は健全な水準である。		
施設の収支概要	※直近3年間について記載（千円）		
項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度
収入（a）	110,408	120,283	121,292
事業活動（H29・H30）			
自立支援給付費（R1）	110,408	120,283	92,478
施設整備等H29・H30）	0	0	101
利用者負担金（R1）	0	0	28,713
その他の収入	0	0	28,713
支出（b）	101,224	104,530	110,736
事業活動（H29・H30）			
人件費（R1）	100,323	103,848	73,107
施設整備等（H29・H30）	259	0	4,709
本社管理経費（R1）	642	682	32,920
その他の支出	642	682	32,920
本体事業収支【(a)-(b)】(c)	9,184	15,753	10,556
自主事業収入（d）	0	0	0
自主事業支出（e）	0	0	0
自主事業収支【(d)-(e)】(f)	0	0	0
全体収支【(c)+(f)】	9,184	15,753	10,556
備考			
団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。		

7 管理業務の履行状況

検査方法	施設所管課職員による現地確認及びヒアリング	
実施時期	令和2年8月28日	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	改善済	衛生管理マニュアルが未作成であったが作成済み
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 指定管理者の自己評価

- ・利用者数は昨年度と同程度で推移していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により3月に利用者が減少したため微減した。
- ・年間を通して季節ごとにイベントや外出する機会がない方への楽しみとして、大型商業施設への外出へ出かける取組みは、特に利用者から高い評価をいただくことができた。
- ・日常生活上の支援に関しては、職員のスキルアップのために研修に参加したり、利用者さんとの関り方に対して全職員が一堂に会し接遇に関して話し合いを行い、職員の質を高め、利用者満足度向上に努めた。

9 所管課意見

- ・市内における身体障害者を対象とした生活介護事業所が少ない中、当該施設が担う役割を認識し、障害支援区分の高い方を積極的に受け入れている点について評価する。
- ・職員体制については、看護師等の有資格者を十分に配置しているほか、研修等の参加など、人材育成、支援体制の充実、向上に努めている点も評価できる。

10 選考委員会意見

【評価した点】

- ・障害支援区分の高い方を受け入れるための人員配置や利用者個々に適した支援内容を積極的に行っている。
- ・事業計画書に位置付けた「重点課題」に対して、事業報告書の中で結果の振り返りが行われている点は評価できる。

【今後期待する点】

- ・重度の身体障害者への安定したサービス提供を維持するとともに、利用者の意向を踏まえ、更なるサービスの質の向上に取り組むこと。
- ・新型コロナウイルス感染症の対策を講じて、利用者が安心・安全に利用できるような施設運営を行うこと。

総合評価（自動判定）

A

(80/100)

